

平成30年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立和佐小学校

作成日

平成31年2月26日

1 教育目標

『心身ともに健康で、人間性豊かな実践力のある子どもを育てる』

2 学校自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった（保護者85%以上） ・学校運営協議会による学校評価（学校運営等に関する評価書） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの道德」「心のとびら」の活用（100%） ・学校アンケート「私は学校が楽しい」（児童80%） ・児童の変容（交流後の感想等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学調、県到達度等において、全国及び県平均と同等になる ・学校アンケート「学校はよくわかる授業を工夫している」（児童・保護者90%）
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営上の問題点については、どしどし地域に相談してください。バックアップはします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめなくそうデーの取り組み等、子供の実態把握に努めていただきたい。 ・近年、社会性が育っていないために起きる事象が多いように思う。社会性を育てる教育に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の話を聞かない子が数年前と比べると改善している。人の話を聞いてあげることとリンクしているのではないか。
取組状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流会を進めてください。（児童、教職員、保護者会、地域） ・教育内容や規模が違うので仕方がないかもしれないが、幼稚園と比べると連携が薄く感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の自主活動（児童会活動など）を活発化し、自主性を育む取り組みについて、検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を進めるために、「今日はどれくらい読んだのか」時間を尋ねるなど、具体的な取り組みも必要ではないか。 ・スマホをする子が多いと聞く。読書時間の確保が課題になっている。 ・図書ボランティアへの協力や蔵書の充実に保護者や地域の支援が得られないか。
取組の適切性の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・今教職員が忙しい時代である。教職員だけでは、子供の教育が難しい時代である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起きの出来ていない子供が多い。基本的な生活習慣は家庭のしつけであると思うが、学校でも改善するための取り組みが必要ではないか。 ・命の大切さについて学ぶことは重要である。9割以上の子供が、教えてもらっていると認識できているのがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導的な話が多くなっている。子供の主体性を育てる取り組みが必要である。
改善年度に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だけでは、子供達一人一人と向き合う余裕はできないと思う。地域の方は、学校運営に協力的なので、保護者と教職員の関係をよりよくしていく必要がある。 ・学校・園と地域、保護者が一体となって、子供達のために何ができるか考え、学校・園での活動につながればよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の自主活動を積極的に取り入れるなど、主体性を育てる取り組みを推進していく。 ・いじめなくそうデーの取り組みをはじめ、ゆたかな心を育てる教育活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちに学力をつけるのは教職員の職務であるが、家庭との連携も必要である。家庭の協力が得られる方法を検討する必要がある。

3 その他のご意見

・教職員は、子供のことをよく見てくれており、連絡帳や電話等で子供の変化を知らせてくれている。子供は一日の大半を学校で過ごしているので、毎日、毎週となると先生に負担になると思いますが、保護者としてはありがたい。

・園児と児童との交流は、互いの学びにもつながるよい機会であり、園児にとっては小学校へのスムーズな接続ができると思うので、積極的に取り入れていただきたい。